

1 単元名 世界の国々の調査

「マレーシア」(全7時間)

岐阜市立加納中学校 春日井 恵子

2 単元のねらい

- マレーシアが植民地から先進工業国へと発展している理由を豊かな資源と外国とのつながりから調べる。
- マレーシアが発展してきている理由を世界一をめざす国の歩みを通して考察し、そこに生きる人たちの自国に対する自信が発展をささげていることをつかませ、人々の営みに関する新たな視点を身に付ける。

3 単元で培いたい学び方

地理的事象から課題を見だし、課題を環境条件や人々の営みなどと関連付けて追究し、国家規模の地域的特色をとらえる視点を身に付ける学び方。

4 内容のまとめりごとの評価規準 地理的分野の内容(2)ウ 「世界の国々」

ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 資料活用の技能・表現	エ 社会的事象についての知識・理解
世界の国々に対する関心を高め、その調査に意欲的に取り組み、世界の国々の地域的特色をとらえようとしている。	世界の国々の地理的事象から課題を見だし、それを環境条件や人々の営みと関連付けて多面的・多角的に追究するとともに、国家規模の地域的特色をとらえる視点や方法を考察している。	世界の国々に関する地図や統計その他の資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して活用するとともに、世界の国々の地域的特色を追究し考察した課程や結果をまとめたり、発表したりしている。	世界の国々の地域的特色とともに、国家規模の地域的特色をとらえる視点や方法などを理解し、それらの知識を身につけている。

5 単元の評価規準

	ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 資料活用の技能・表現	エ 社会的事象についての知識・理解
単元の評価規準	マレーシアの地理的事象に対する関心を高め、マレーシアに関する地図や統計その他の資料を用いた調査に意欲的に取り組み、収集・処理した地理的事象から見いだした課題を追究する中で、マレーシアの人々の営みについて考えようとしている。	マレーシアに関して自分が調べた地理的事象から課題をつくり、それを自然条件、社会条件、歴史的条件、そこに生きる人々の営みに着目して、多民族国家マレーシアの現状と課題、発展の理由について考えている。	マレーシアの地図や統計資料、文献を収集して、多民族国家マレーシアの現状と課題、発展の理由についての自分の考えをまとめ、表現することができる。	複合民族国家、旧植民地としてのマレーシアの発展と問題点を追究する視点と、考察した結果のまとめ方を理解し、その知識を身につけている。
学習活動における具体の評価規準	①私たちの暮らしとの違いに着目して、マレーシアの様子について2つ以上の視点をもって考えようとしている。 【第1時 発言内容・ノートの記述】 ②既習内容を生かしマレーシアの地域的特色を表すキーワードを地図にまとめている。 【第7時 まとめ地図】	①マレーシアの発展の理由を「自然条件(資源・農産物)」「社会条件(政策・産業開発)」「対日関係(日本企業)」のいずれかに視点に置いて考えている。 【第5時 ノートの記述】 ②そこに生きる人々の営みやそれぞれの民族の考え方の違いに着目して、発展をめざすマレーシアの人々の考えを考察している。 【第6時 感想の記述】	①マレーシアについて資料を自ら収集して、複数の資料を比較することによって国の特色を見つけだしている。 【第2・3時 活動の様子・まとめのノート】 ②自分の調べたことをわかりやすく相手に伝えたり、必要なことをメモしながら聞いている。 【第4時 発表の様子・発表後のノート】	①マレーシアの人々の生活の様子や意識について、日本人の生活との違いを視点において正しく理解している。 【第4時 ノートの記述】